

マダラシマゲンゴロウ

Hydaticus thermonectoides

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧 I A類(CR)

種の概要

体長9～10mm。体型は卵形、背面はやや強く盛り上がり光沢がある。頭部は全面淡黄褐色で微細な点刻がある。前胸背は後縁がやや暗色であるが、ほぼ全面に淡黄褐色で、前縁部と後縁の一部にやや浅い点刻列がある。上翅は淡黄褐色で小黑点を散布するが、上翅両側・基部・上翅中央後方・翅端付近には黒点が希薄で紋様状を呈する。背面は細かい網状印刻に被われ、各3条の細かい点刻列があるが、外側の1列はやや不明瞭である。水のきれいな水田や放棄水田、ジュンサイの生えるような貧栄養な池などに生息する。



写真提供：森正人

国内分布

本州、九州

県内分布記録

神戸市、豊岡市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○

特記事項

県内では、最も新しい神戸市の情報(1955年)以降、記録や情報が全くない。本州の特産種とされていたが、最近になって九州産の古い標本が確認された。本種は種の保存法で国内希少野生動植物種に指定されている。

保護上の留意点

池沼など止水域の保全